

第25回 かわたな歴史探訪

開催日 : 9月29日(日)

開催場所 : 大崎半島

参加者 : 21人

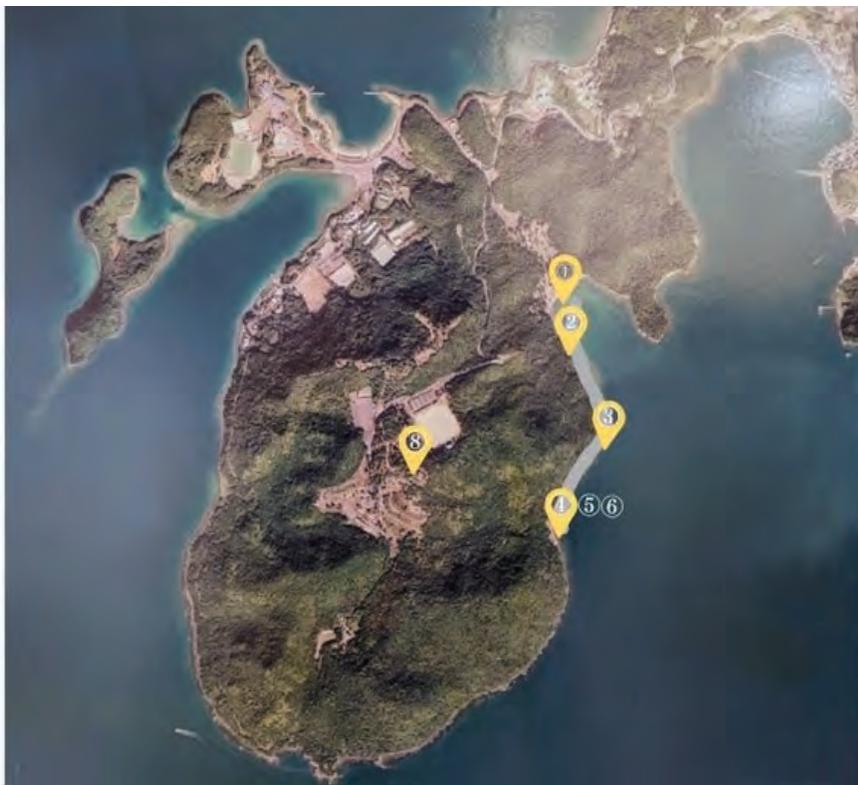
所要時間 : 約2時間

コース : 大崎オートキャンプ場駐車場～大崎半島遊歩道(約2.0km)

かわたな

歴 史 探 訪

—第25の巻 大崎半島— 9月29日(日)開催



開催当日はお天気も良く、第25回歴史探訪が開催されました。



ガイドの古川さんから、これから散策するコースの古い航空写真を見せていただき、「この場所にどんな施設があったのか？」歴史を思いながら散策がスタート。



オートキャンプ場の横道から始まります。ここには当時人工的に作られた破片や、建物があった痕跡が転がっています。

ガイドの古川さんが参加者の皆さんにその見分け方を紹介。



わかりやすい写真がコチラ。大きな石と小さな石がそのまま固められて作られた古い人工物です。時代を感じる粗さですね。



オートキャンプ場の横道を散策した後は大崎キャンプ場のフリーテントサイトを超えて、サイクリングロードに向かいます。このキャンプ場は大村湾が目の前に広がっており、散歩コースとしてもオススメです。

足元をよく見たら、ここでも歴史の欠片や痕跡を見つけることができます。



キャンプ場にある物置き場のコンクリートには陶器が埋まっています。（写真アップを撮り忘れました）古川さんが指を差している辺りに陶器が埋まっています。ぜひ見つけてみてくださいね。



こちらがサイクリングロードです。平日はほとんど人がいないので、豊かな景色と静けさに心が癒されます。



少し歩くと中間地点に「くぐり岩」が見えてきます。現在は崩落の危険性があり、中に入ることはできませんが、昔は通り抜けができ、ちょっとした冒険気分を味わえるスポットだったそうです。入れないのは残念ですが、長年波で浸食され削り取られて出来た自然の景観を楽しめます。



対岸には片島公園（魚雷試験場跡地）と虚空蔵山がきれいに見えるのもこのコースのおススメポイント。



サイクリングロードの最終地点には東屋があります。参加者の皆さんとコチラで一息。



この東屋の近くの海側にも歴史の痕跡があります。海に繋がる水路がコチラ↓



レンガが今とは違ったコンクリートのような作りになっています。どんな施設があったのでしょうか？
ここでも想像が膨らみます。



ここからはくじゃく園に繋がる山道を歩くコースになります。5分ほど階段を上った先に2つの石碑と大きな岩が見えてきます。



「白王竜王・天豊姫大臣」

この2つの巨石を神、もしくは神が宿る場所としているのではないかとのこと。周辺に5つの川の痕跡があったことから、水の神様として祀っているのではないかともいわれています。



今回の第25回かわたな歴史探訪～大崎半島～を巡る旅のゴールがコチラ。約2キロのコースでしたが、古川さんのガイドを聞きながら皆さんウォーキングを楽しめたようです。

最後に100年前と同じ場所で参加者の皆さんと写真撮影。



川棚町では、年に2・3回楽しく笑ってまちづくりの会（楽笑会）が主催で行っているかわたな歴史探訪が開催されています。

町内の歴史を巡りながら郷土愛を高めるとともに、参加者の健康づくりを目的としています。

さらにガイドの古川さんも所属している楽しく歴史を学ぶサークル「川棚史談会」は毎月第2火曜日に中央公民館で9：30～開催されています。



こちらもお興味のある方、参加してみたい方はHPの【問い合わせ先】企画観光課地域プロジェクトマネージャーの延山までお気軽にご連絡ください。